

特別企画

実装しよう、組み込みエンジニアが 100%力が発揮できる「働き方」 のかたち

2020.8.20

(社)産業カウンセラー協会 中部支部 静岡事務所 酒井 卓也
(株)ヴィッツ 星野 利夫

はじめに

SWEST22では、特別企画：オンラインワークショップとして、組み込みエンジニアの「働き方」についてみなさんと考えます。

- ・ 否応なくテレワークで働くようになり、戸惑いを感じている、部下やチームメンバーの様子がわからない、コミュニケーションがうまくとれない。

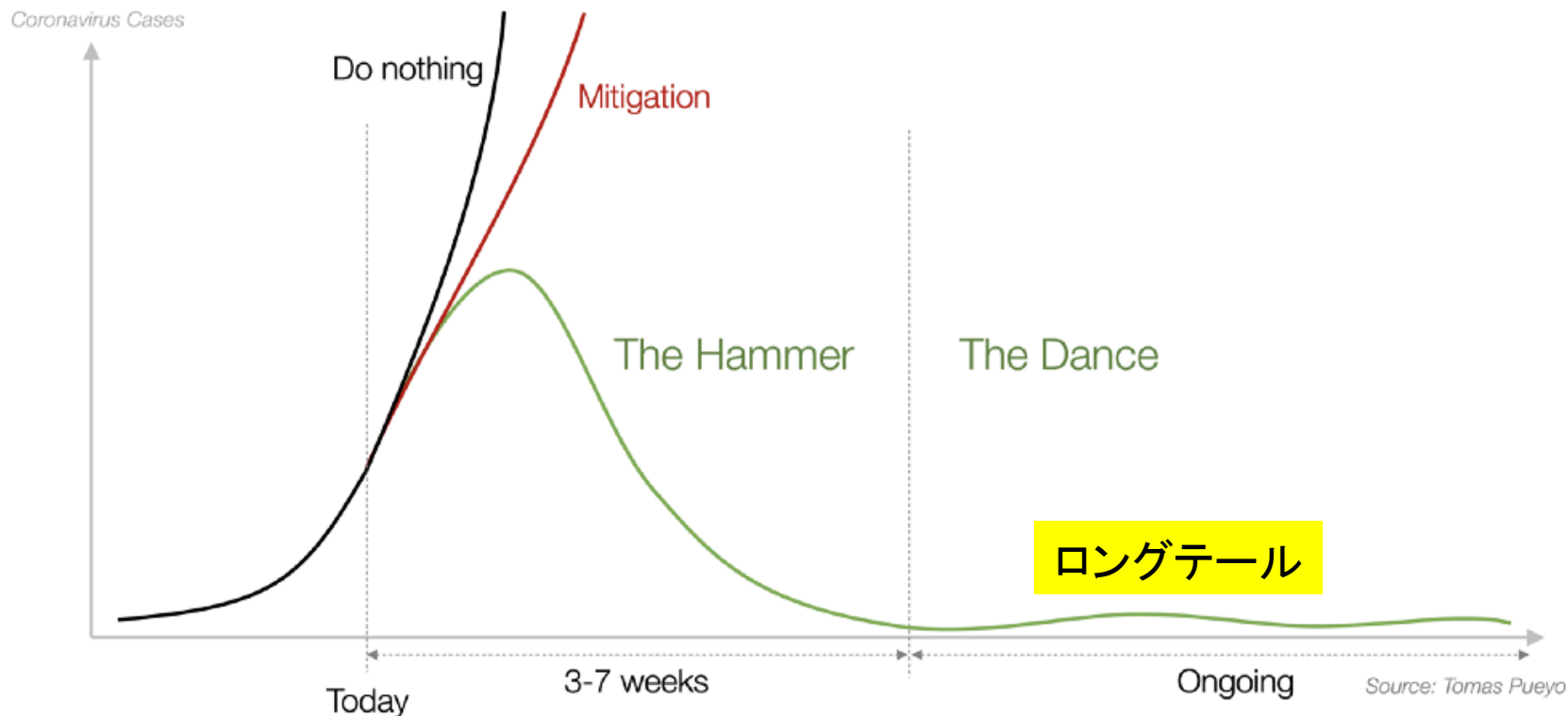
- ・ ただでさえデスマーチなのに、コロナ過の影響で開発プロジェクトの運営に四苦八苦。強いプレッシャーのなかプロジェクトを成功させなければならない。

もしかしたら新型コロナの流行は単なるきっかけであり、いままで潜在していた課題が、一気に顕在化したとも考えられます。

Withコロナの時代のなか、これらの課題を乗り越え、組み込みエンジニアがもっと活躍するには、何が必要か探してみましょう。

Withコロナの時代への突入

Tomas Pueyo (2020) Coronavirus: The Hammer and the Dance



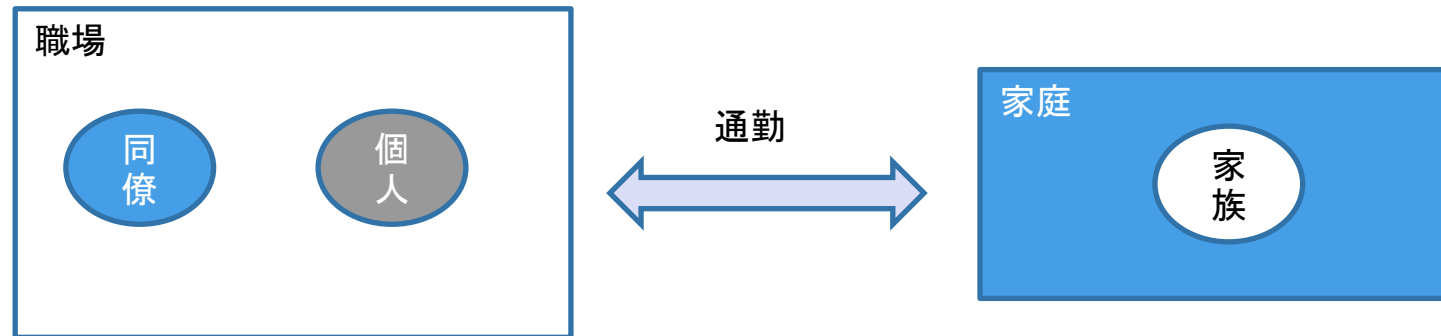
<https://medium.com/@tomaspueyo/coronavirus-the-hammer-and-the-dance-be9337092b56>

- COVID-19 の感染拡大抑止は無理ゲー
 - 有効なワクチンがない
 - 症状が出る人でない人がいる
- 確実な対策は、**物理的**な人との接触を減らすこと

人と直接会わないで、**社会生活**
を送る世界の到来。

テレワーク普及による働く環境の変化

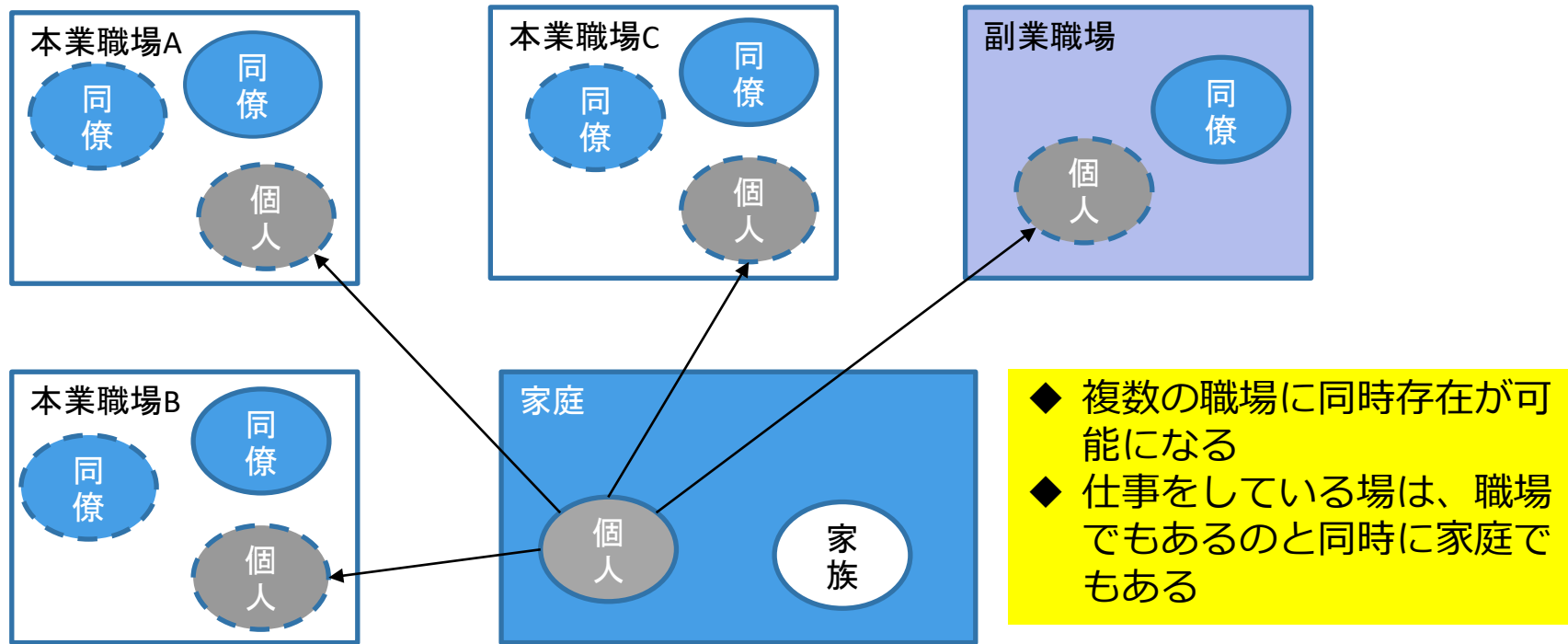
- コロナ前の就労



職場と家庭は明確に分離されていた

テレワーク普及による働く環境の変化

- Withコロナ時代の就労



テレワーク普及による働く環境の変化

- ・管理監督者から見たテレワークのアナロジー

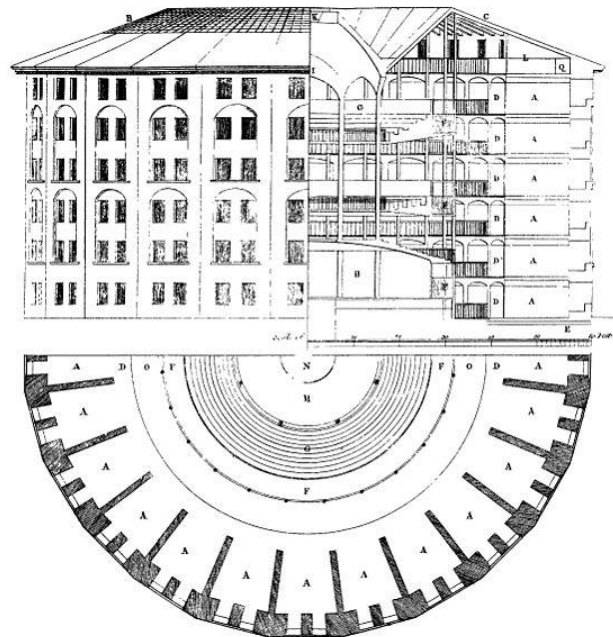
『パノプティコン

(Panopticon)は邦訳すれば全展望監視システムのこと。all

「すべてを」(pan-)observe

「みる」(-opticon)という意味である』

監視者がいてもいなくても囚人が監視を意識する監獄施設



性善説で見ていなくても業務はこなしてほしい。
個々の仕事ぶりをどのように把握すればよいか。

出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%91%E3%83%8E%E3%83%97%E3%83%86%E3%82%A3%E3%82%B3%E3%83%B3>

一般で言われている在宅勤務の弊害

- コミュニケーション不足
- 外的要因のストレス増加
- 時間管理が難しい
- 会社・同僚とのつながりが薄れる
- 運動不足

会社→自宅で影響が出そう

- 在宅勤務あるある。（仕事がしやすくなったこと、やりずらくなったこと）
- 組み込みエンジニアのための理想の在宅勤務環境

- 在宅勤務と出勤勤務の区別をしない工夫
 - 就労時間中はZOOM常時接続
 - 朝礼への参加
 - 就労時間中は名札着用、自分作業着着用（会社の作業着）

在宅勤務だろうが、出勤勤務だろうが、“ルーティン（習慣・日課）”で安定 させることが、体調とこころの安定にもつながり、生産性もあがる。



Summer Workshop on
Embedded System Technologies